

共同運営部門：放射線治療センター

—関係部署—

放射線科
中央放射線部

—概要—

放射線治療装置は直線加速器(リニアック)を使用して、ほとんどの悪性腫瘍や一部の良性疾患を対象に外部照射を行っている。

現在、新規患者さんの受け入れ(初回診察日)は週2回となっている。初回診察にて放射線治療の適応となると、概ねその日のうちに治療計画を行い、翌日から治療開始となっている。外科(乳腺)や耳鼻咽喉科(喉頭、咽頭など)からの依頼が多く、全体の約2/3を占めている。

リニアックは2011年2月にエレクタ社製Synergyを導入し、画像誘導放射線治療機能、マイクロマルチリーフや6軸カウチなどを用い、精度が高く短い時間で終わる放射線治療を実施している。また、特殊放射線治療として脳腫瘍に対する定位放射線治療や骨髄移植前の全身照射にも対応している。

専任の医学物理士はリニアックの品質管理と線量測定、治療計画の補助などに携わり、治療が安全に精度よく行われるように管理している。

—使用機器—

リニアック1台

放射線治療計画装置3台(定位照射用1台を含む)

治療計画用 CT 装置1台

—実績—

2016年度

1日平均治療患者数 12名

新規治療患者数 124名、治療部位数 131部位

原発部位別新規患者数 (名)

脳・脊髄	1
頭頸部	31
食道	5
肺・縦隔	0
乳腺	45
肝・胆・膵	0
胃・小腸・大腸	8
泌尿器	17
造血器・リンパ系	13
皮膚・骨・軟部	0
その他	4

特殊放射線治療 (名)

脳定位照射	0
全身照射	6

—今年度の成果と反省点—

昨年度に比べ、全体的に患者数が減っているが、特殊治療である全身照射の患者数は増えている。全身照射の患者さんを含めて待ち時間はほとんどなく、治療を開始することができた。

—来年度への抱負—

装置を更新し、6年が経過した。今後は、装置トラブルを未然に防ぎ、安全に治療が行えるよう品質管理の手順を整備する。